

映画「たたら侍」制作決定

～PRイベントが盛大に開催～

島根県を舞台にした映画作品で知られる錦織良成監督の新作「たたら侍」制作開始に先がけ、5月7日、PRイベントが島根県民会館で開催されました。

隠岐の古典相撲を題材にした映画「渾身」をきっかけに、錦織監督と人気グループEXILEのリーダーHIROさんが意気投合し今回のイベントを企画。「『本物』がある島根」を盛り上げたいとHIROさんほかEXILEメンバー、劇団EXILE、E-girlsなどが石見神楽や掛谷太鼓とコラボレーションしたり歌やダンスなどを披露し、抽選で選ばれた2300人の観客で埋まった会場を盛り上げました。また、日刀保たたら協力のたたらと日本刀の紹介展示も行われました。

この映画は「たたら」を題材に島根を舞台とする戦国時代劇で、鉄づくりに励む父を目にした息子が郷土愛に目覚めていく内容。HIROさんがエグゼクティブプロデューサ

を務め、撮影では木原村下を中心とする操業チームが所作指導など重要な役割を担う予定です。

島根県と奥出雲町ほか5市1町で「たたら侍(仮)支援自治体連絡会」を設立。映画制作の全面的支援や情報発信を行い、広域的な観光振興や地域振興につなげます。



▲対談の様子(左から)主演の青柳翔さん、錦織監督、HIROさん

©「たたら侍」プロジェクト。転載、流用、転写などの一切を禁じます。

JR出雲横田駅に観光情報コーナーが開所

JR出雲横田駅に、ボランティアガイドによる観光情報コーナーが開所しました。初日の四月二十六日には、情報提供の仕方などの研修を兼ねた出発式が行われ、三年目を迎える今年には、町内のイベント情報なども発信できるよう、JR出雲三成駅にも観光情報ボードが設置されました。



▲観光情報コーナーの様子

トロッコ列車をお出迎え 布勢幼稚園

四月五日から木次線トロッコ列車「奥出雲おろち号」の運行が始まり、JR出雲八代駅では今年も毎週金曜日と土曜日、布勢幼稚園の園児たちがかわいらしくトロッコ列車を出迎えています。五月は手作りのこいのぼりを手合唱してお出迎え。乗客は、子どもたちの思わぬ歓迎に驚いていますが、写真を撮るなどして束の間の停車を楽しんでいました。



▲園児たちが元気よく出迎えます

鯛ノ巣山 絶好の登山日和に山開き



▲登山道を確認して登山開始

阿井地区にある鯛ノ巣山の山開きが、五月四日に行われました。登山道入口駐車場において神事が執り行われ、集まった約三十人の関係者と登山者が、今シーズンの山の安全を祈願しました。登山の前に、鯛ノ巣山の自然を守る会の影山豊幸会長から「守る会で登山道整備を年間通じて行っているが、けがの無いように登山を楽しんでほしい」とあいさつがありました。登山者は新緑とやわらかい日差し、心地よい風を感じながら山頂を目指しました。

三成公園野球場管理棟を改修しました

老朽化により改修工事を行っていた三成公園野球場管理棟施設が、三月下旬に完成しました。新しい施設には、男女別と身体障害者用のトイレ、器具庫が設置されています。八月に開催される全国スポーツ少年団ホッケー交流大会での活用のほか、運動公園を利用する方の利便性が向上します。



▲改修された三成公園野球場管理棟

奥出雲地方の女性の生き方紹介ブック

「島根×東京『女子百花』」を創刊

奥出雲町、雲南市、飯南町の行政、商工会、JAの女性職員10人で構成する「おくいずも女子旅つくる！委員会」が、同地方への移住を促すフリーペーパー「島根×東京『女子百花』」を作成しました。

田舎暮らしに興味を持つ都市部の20代から40代の女性がターゲット。これまで発行してきた女性向け旅行情報誌『Okutabi(オクタビ)』2巻が好評だったのを受け、第3段は「定住の地島根」を首都圏へPRすることを目的としています。

誌面の内容は、奥出雲地方に関わりのある東京在住の女性と島根に住む女性たちの仕事ぶりや暮らし方をインタビュー形式でまとめたもの。「つながる」をテーマに、一つの商品を通じて都市と地方で生きる人々を紹介するコーナーもあります。

この『女子百花』は、過疎化が進む島根と過密化が進む東京、まったく真逆に見える2つの場所で生きる女性たちを紹介して、普段の生活では交わることがないように思える東



▲創刊された「島根×東京『女子百花』」

京と島根に生きる人々の人生も、実はつながっていて、支え合っているという「見えないつながり」を表現しています。そしてこの冊子を読んだ人が「自分とつながる誰か」を思うきっかけになればという思いで作られています。

【お問い合わせ先】

うなん観光ネットワーク協議会
(雲南広域連合内)
電話：0854-45-5880